

子ども時代は2度と来ない・・・だから

とびっきりの「子ども時代を」

今、私たちは大変困難な子どもたちの状況に直面しています。ここに至るまで、日本社会は経済優先・閉鎖的な個人主義といった大人社会をつくり、その社会を反映して子どもたちまでゆとりを失い、子どもらしい夢や希望を持ちにくい世界へおいこんでしまいました。

相次ぐ子どもたちの心痛む事件は、何よりも人間関係の基本となる、人と人のかかわりあいの中で、人間らしい感性を身につける社会的な体験が不足していることを教えてくれています。今を生きる子どもたちにとって「子ども時代」こそ、多くの仲間との体験や失敗の体験、心揺さぶられる芸術・感動体験が不可欠の要素です。子どもたちは様々な経験の積み重ねの中から、自分の考えをありのままに表現し、他との違いを認識でき、相手の気持ちを理解する力を自ら獲得していきます。

子どもの権利条約では、子どもたちの最善の利益を守る立場から「意見表明」「表現の自由」などの権利をうたい、子どもを人格ある社会の一員として位置づけています。また、「休暇・余暇・遊びや文化的な生活、芸術に参加する権利」〔31条〕が、子どもたちの創造性・主体性を養う上で重要だと掲げています。特に31条は、子どもたちの日常生活になくってはならないものとして意識されるようになりましたが、現実には不十分な状況にあり、よりきめ細かな環境整備や支援施策が望まれます。

特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センターでは、県内や全国の子どもと文化にかかわる諸団体や行政、及び様々な人とともに、子どもたちの感性を感じとり、子どもの社会的価値を発見する機会を創ると同時に、子どもたちの自らがそのことを自覚していけるような場や機会を創ります。また、子どもたちに声を聴き、その声を社会に届けながら「子どもと大人の共同参画」をめざして活動をすすめます。

(設立趣意書より抜粋)

子ども劇場千葉県センターの概要

- 1988年11月 千葉県子ども劇場おやこ劇場協議会発足
- 1998年6月 子ども劇場千葉県センターに改組
- 1999年5月28日 特定非営利活動法人設立
- 2013年12月6日 エクセレントNPO 市民賞ノミネート表彰される

● 運営・しくみ

1. 会員・・・団体・個人正会員、賛助会員、ボランティア会員
2017年4月現在 団体正会員26 個人正会員25
賛助会員24人 ボランティア会員90人
2. 理事16名 監事2名
通常総会毎年1回 理事会隔月開催

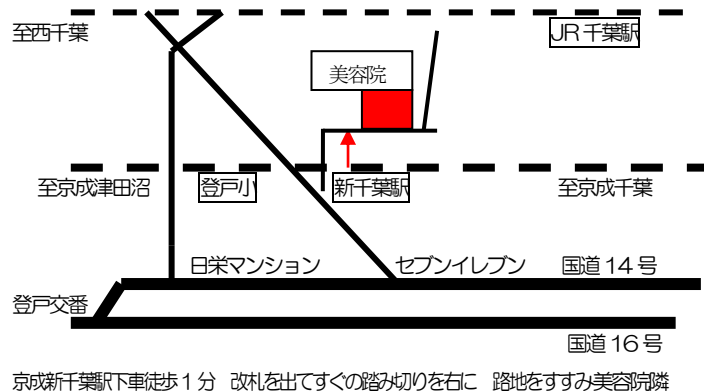
子どもは社会の財産です。子どもが心豊かに人間らしく育つためにご支援ください。

★ 賛助会員

- 個人会費 年会費 ー□ 5,000円
- 団体会費 (NPO) 年会費 ー□ 5,000円
- 団体会費 (企業) 年会費 ー□ 10,000円

★ 年会費は郵便振替で下記の口座まで

00150-9-415192 子ども劇場千葉県センター
賛助会員の方には、「くるっと房総」送付と活動をご案内します。



特定非営利活動法人 (NPO 法人)

子ども劇場千葉県センター

千葉県内の子どもの発達権を保障する
生活文化環境を創ります。

わたしの子どもから

わたしたちの子どもたちへ



特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉
2-17-6 サンコート新千葉102号
TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263
E-mail kidchiba@lily.ocn.ne.jp
URL <http://chiba.gekijou.org/>

事業のごあんない

舞台芸術・文化・体験活動の普及推進事業

■ 「はじめてのおしばい」

0,1,2,3歳児とその親・家庭や小学生等が舞台芸術に触れる機会を届けます。親子いっしょに参加し、わが子の反応を楽しみながら、穏やかに過ごす時間をもつことで、子どもへの愛おしさが増していきます。また、初めて生の舞台に出合った小学生は、夢中になって見入ったり大声で笑ったりして楽しみ、心が開放されていきます。

- 千葉県中央児童相談所 千葉市児童相談所 千葉県乳児院
- 作品：人形芝居燕屋 ねずみのすもろ
- BB モフラン「アフリカンリズム&パーカッション」
- 人形劇団のはな「ともだちげきじょう」

文化庁委託「平成29年度文化芸術による子供の育成事業」 ～芸術家の派遣事業～

県内の小・中学校70校に、一流の芸術家が学校を派遣し、講話、実技披露、実技指導を実施するものです。(=体験型ワークショップ)子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うと共に、優れた文化芸術の創造に資することを目的とした事業です。総合的学習の時間、国語、音楽、図工など教科の授業として行います。平成27年度は県内39校で、平成28年度は70校で実施しました。

子どもの居場所・社会参画事業

■ チャイルドライン千葉の開設

全国統一フリーダイヤル

0120-99-7777

月～土 16:00～21:00



18歳までの子どもがかけられる子ども専用の常設電話です。電話を通じて子どもの気持ちに共感しながら心の声を聴き、子ども自身の力で問題解決できるようサポートします。指導や指示はしません。もちろん秘密は守ります。全国どこからでも無料でかけられます。

チャイルドラインの約束

- ★ヒミツは守る。
- ★名前は言わなくていい。
- ★イヤだと思ったらきいていい。

親・家庭を支える子育て支援事業

■あなたをひとりにならない・させない「ママパラインちば」

043-204-9390

商標登録済

子どもを持つ親・家庭の子育ての悩みや不安を、共感的に受け止め、傾聴する電話です。研修を積んだ受け手ボランティアがやさしくお聴きし、子育てが前向きに楽しめるよう応援します。
(毎週金曜日 10:00～16:00開設)

☎ ママパライン全国キャンペーン

2018年3月5日(月)～3月10日(土)

☎ 全国8箇所で開催しています。

北海道 仙台 福島 千葉 東京 名古屋 兵庫 和歌山



病気と向き合う子どもが笑顔になる贈り物事業

長期入院や通院している子どもたちにプロによるパントマイムやクラウン・人形劇や音楽、小児病棟の子どもたちのために開発されたワークショップなどを届け、子どもの笑顔や喜びの音が聞こえてくるような楽しいコミュニケーションの場を創ります。合わせて、親・家族もほっとする時間を創ります。



(実績)千葉県こども病院 国府台病院 松戸市立病院 下志津病院 千葉大学医学部附属病院 千葉東病院 成田日赤病院 東邦佐倉病院 東京女子医大八千代医療センター 君津中央病院 千葉県千葉リハビリテーションセンター。

病院だけでなく、児童福祉施設などにも、参加型のワークショップや、パフォーマンスを届けています。

(実績)千葉県中央・柏・市川児童相談所 千葉市児童相談所 千葉県乳児院 【2008年度より開始し、9年間の実施実績：11病院5施設 延べ 99回 4,767人参加】

専門性をもつ人材養成事業

- チャイルドライン受け手養成講座
- NPOリーダー研修会
- 子ども地域文化コーディネーター養成講座

傾聴の文化を広げる講座

傾聴のスキルを身につける講座ではなく、「傾聴とは何か」「人の話を聴く・聴いてもらう」ことを体験し交流して、感じることを主眼としています。「傾聴」の姿勢は人間関係づくりの第1歩になります。ワークをたくさん取り入れて、わかりやすく楽しい講座になっています。子ども・子育て団体 子育てサークル 家庭教育学級 公民館事業 子育て支援事業 高齢者や介護施設等々で、ぜひお気軽にご活用ください。ご要望内容に添って講師を派遣します。(要申込み 要有料)

子どもや子育て講座・NPO サポート事業

■ 出前講座 相談 サポート

- ① チャイルドライン・ママパラインから見える「子育てのヒント」
- ② チャイルドラインから見える子どもの状況
- ③ NPO運営 会計基準 年度末書類作成等、相談やサポート

情報・出版事業

子どもの情報紙「ぐるっと房総」を、年4回発行します。

私達も応援しています

山田 由紀子(弁護士)

子どもの権利条約は、子どもの遊ぶ権利や文化的生活に参画する権利を保障しています。世界の中で一番この権利が保障されていない日本の子どもたちが、どんどん活動に参加して、遊びや文化の中で、キラキラと輝く子どもになってくれないかなと思います。

清川 輝基(元 NHK 放送文化研究所専門委員)

「私の子ども」から「私たちの子どもたちへ」

今、人間になれない子どもたちが増えています。子どもたちを人間に育てるには、それなりの条件が必要ですが、親だけの子育てでは人間になる条件を保障できません。地域の大人たちが手をつなぐ「子ども劇場」は、子どもが人間になるための発達環境を保障する場なのです。